



介護を大切に

富田林市西板持町

馬場 義伸 (72歳)

介護保険の報酬改定についての記事で、「実態を反映しない経営データから報酬単価の引き下げを決めてしまいました」とありました。このこと

異文化にふれて

堺市西区上

久佐木 利恵子 (56歳)

30年ぶりに友人と韓国旅行へ行ってきました。キャッシュレス化が進み、異文化にふれ刺激的で楽しかったですが、やはり日本人は親切で優しいと実感!!

職場のみんなと

堺市中区深井水池町

岸本 理沙 (28歳)

いつもクロスワードが届くのを楽しみにしています。仕事の合間のちょっとした時間にしています。スタッフみんな考えたりと職場のコミュニケーションにも繋がっています。

介護保険料びっくり

群馬県伊勢崎市境東新井

清水 有香 (46歳)

介護保険料が全国で3倍も開きがある事に驚きました。毎号、読み応えがあります。

戦火をくぐりぬけて

高石市取石

沼間 綾子 (71歳)

いつも「私の戦争体験」の記事を読ませていただいています。よく亡き母に沖縄で空襲にあつて戦火をくぐりぬけてきた話を聞かされてきたのを思い出しました。

子ども食堂に関心

堺市西区神野町

吉野 美貴 (49歳)

このワイズも子どもたちとあれこれ話をしながら考えるのが楽しいです。あと「とも」の内容はとても充実でこんなことをやっているんだと知るキッカケになってます。子ども食堂のこともチラッと載っていました。私も少し詳しく知りた

水分、飴、梅干しで

和泉市伏屋町

今宮 弘子 (78歳)

毎日暑いです。雨量の多い地方も大変ですね。毎日熱中症にならないよう水分、飴、梅干しとで過ごしています。



安達ヨシ子

住民皆で気をつけて

堺市南区新松尾台

喜多 洋子 (80歳)

私の住む光明池地区は大きい公園やグラウンドがあり、緑が多く花も咲き、とても良い住環境ですが、近頃空き巣被害や不審者の目撃など物騒な出来事が起きて起っています。住民皆で気をつけて合せて安心安全な町となる様努力しています。

秋になったら

堺市東区日置荘西町

村谷 理恵 (63歳)

おすすめ簡単レシピ切り抜いてとっています。いつもおいしいそうと思いつながら、まだ作ったことではないのですが、秋になったらまとめてごちそうを作りたいな〜!

一人ひとりが大切にされる社会に

岸和田市 戒町

室井 宏文 (60歳)

旧優生保護法違憲訴訟の最高裁判決が出て、原告が完全勝訴。本当に嬉しい判決でした。本当に1人ひとりが大切にされる社会の実現にむけたスタートになると思います。

恐ろしく悲しい記憶は忘れることはできない

井口軍一郎

(北区東上野芝町)

MC原田 (以下原田) 戦後60年、リスナーの語り継ぐ悲惨な体験、あの大戦から60年、悲惨な体験をした人々の数は減りまして、記憶も月日が経つとともに薄らいでいきます。しかし、決して忘れてはなりません。

8月15日の終戦記念日です。ラジオをお聴きの皆さんが語り継いでいただいたその戦争体験を、ご紹介していただくコーナーです。今日、ご紹介するのは堺市にお住まいの井口軍一郎さん67歳の方から戦争体験のお話をお伺いいたしました。

2005年8月9日 ラジオ大阪放送 MC原田年晴「ほんまもん! 原田年晴です」から聞き取り、まとめたものです。

寄稿 私の戦争体験 (71)

あるとき、井口さんたちが移動しているときに、戦闘機に見つかりまして、機銃掃射、ダグダグと危うく受けそうになりました。命を落としかけたそうです。そのときの様子は今でも鮮明に井口さんは覚えていらつしやるということなんです。

井口さん (以下井口) 何もかかってね。着いたんですけどね。そこで夜の住まいを探すために大八車2台ぐらいで荷物積んで、男性のリーダーを先頭にね。ほとんど女性と子どもだったんですけど、移動してたんですけどね。すごい飛行機がね。当時としては珍しい羽根が上にある、今、日本と言うセスナ機、飛行機が飛んできたんでね。まあ、旋回しているのを立って見ていた。そうすると機首を下げてね、なんかこっちに向かってくるような感じがしたんです。

隣におつたおばあさんにね、突き飛ばされてね。畑に放りこまれた。その畑にその女性と一緒に折り重なるように倒れこんでいた。ひよつと道路を見るとね。銃弾がね、順番にザッザッと一列に打つていくのを見てね、もしあのとき、あそこで立ったらもう穴だらけになっていたんじゃないかなと...

原田 だから横で。そのお

ばあさんがバーンと。井口 助けてくれたんですね。原田 万が一、突き飛ばしてくれなかったら、多分、井口さんの命は亡くなっていたらうなということですね。井口 だって7歳の頃の話でしょう。原田 だから子どもからすれば珍しい飛行機やなあとポーツと眺めていたんでしょね。井口 小っちゃい男の子ですからね。原田 それに言ったら、追い回されたということなんですかね。鮮明に井口さんはそのときの様子を覚えていらつしやる。3か月かかまして満州を南下し、無事家族と再会はできたということなんですけど、井口さんが日本の敗戦を知ったのは8月15日で、満州から南下する際の満員電車の中。で、放送を聞いた人、車内の人は悲しみと落胆の声で充満していたということなんだそうです。そのときの様子もしっかりと井口さんは覚えていらつしやいます。

7歳の記憶なんですけど、あまりにも悲惨な状況だったので、7歳であつてもしっかりと覚えていらつしやったんでしょね。